

福總新聞

（毎月十廿廿五）二四
定價 郵費五圓
廣告料 雜報五圓
發行所 福總新聞社
市島 範三

はリスク
目丁五町平
へ局藥邊野山

本社十週年を記念し

縣下産業と人物を紹介

本社創立十週年を迎ふるに當つて、縣下の産業状態及び人物を紹介する爲に、縣下を巡回し、津々浦々に至るまで足跡を印して地方の代表人物を採り紹介することにした。又産業状態を視察し、記念紹介號を發行する所定である。本誌は東京支局とも連絡をとり、本縣下の状態を中央にも知らせ、縣出身在京諸氏と聯繫を保ち、地方發展向上の爲めに共力して、所志の目的を果す所存である。何卒御座らんことを希望して、此の次第である。

福總新聞社
市島 範三

金成忠義氏

氏の熱心と誠實は患者から平町に於ける外科醫院として頗る好感を寄せられ、繁昌してゐる。金成氏は非常に患者に對して親切であり、治療に對しては、自信と深い研究を忘れた人である。

安齋外科醫院

湯本町に於ける外科醫院として知られ、其技術の優秀と患者に對する情味があるの爲に、信用を博してゐる。人格豊かな人にして、一般人からの信望が深い。

市原卯太郎氏

市原卯太郎氏は市原病院の院長として、刀圭界にも最も經驗を有する名醫として知られてゐる。温厚の人格者にして、貧しきものには迷感からず、施療するので貧家からは無くてならぬ先生として尊敬されてゐる。

籠倉醫院

湯本町籠倉醫院院長温厚篤實の紳士で貧患者より慈父の如く親はれ、地方民の信用極めて深い。

人に好感を與へる 温厚の人格

比佐源造氏は町議二期を勤め、現職にあつて町刷新の爲めに努力してゐる。多年入山に勤奮重要な位置を占め

入山に無くてならぬ人である。温厚篤實の士にして人と接觸して常に好感を與へる人格をもつてゐる。

明朗達識な 石川町長

湯本町長石川徳壽氏は縣議をも兼ね可成り多忙な努力を續けてゐる。湯本町長は従來暗い型の人物が多かつた、石川氏は明朗達識の人であるだけに、一見して町長としての印象を受ける多し。石川氏によつて、よく切り抜けることが可能であらう。

印象を受ける 湯本町長

湯本町長石川徳壽氏は縣議をも兼ね可成り多忙な努力を續けてゐる。湯本町長は従來暗い型の人物が多かつた、石川氏は明朗達識の人であるだけに、一見して町長としての印象を受ける多し。石川氏によつて、よく切り抜けることが可能であらう。

湯本郵便局長 鯨岡 潔氏

湯本郵便局長鯨岡潔氏は通信事務に極めて練達し、統一した郵便事務に懸けて、模範とされてゐる。地方より信用深く取扱又親切で、頗る喜ばれてゐる。

好評ある 吉田庄太郎氏

近頃『道徳論』を出版、好間小學校長吉田庄太郎氏は多年本縣教育界に貢献した有力教育家として知られ、又國粹主義者として、現下の子弟を指導するに適切な材として、地方民から迎へられてゐる。目下國民道徳と個人道徳の三部より成る『道徳論』を出版すべく執筆中である。が年内には脱稿する筈である。（廣告文）

中里助役

湯本町助役中里顯太郎氏は事務に練達し、村長を援けて好評あり努力主義の人として知られてゐる。

鈴木收入役

湯本町収入役鈴木信顯氏は止責勤勉にして、收納事務に稀に見る手腕家にして町民より信用がある。

業界に特色ある 湯本無盡の向上

理想の庶民金融として好評
第四種無盡人氣をよぶ

湯本信用無盡株式會社は民金融機關として、地方經濟に大正十二年の創立で地味に貢献してゐる。方では古き歴史を有して、第四種無盡掛金は全社の最堅實な會社である。現在資本六萬圓を擁、逐年であつて、千圓會、五百圓會、二百圓會、百圓會、五十圓會、二十圓會、十圓會、五圓會、二圓會、一圓會、の四種類あつて、日掛、半日掛、月掛といふ便法もあつて、取引者に好評を博してゐる。取引者間に好評を博してゐる。全社の特色は取引者間の同好のしてゐる。無限責任にあること、取本社は湯本町内に在り、原町、縮役は湯本地方に於ける有郡山に出張所があるが、營業力者にして且人格者植田安所として、石城郡内に、心だといふので、其加入者植田、四倉外に四ヶ所其の激増の状態を示してゐる。他相馬、双葉、安積、田村、岩融通方面を見るに掛金限度、瀬、東、白、河、の各郡下、貸付金の利子は二錢一厘、の極要地に設置してゐる。老ひも若きも松茸を差上げて、得意に呼び交はしてゐる。實に此の日に此時だけの無心二錢五厘といふ何れも比較衛 監督役若松孝平、粥塚なかつた。的の低利を旨として、加入者富二郎、相談役小野春之助、谷地、泉、元、湯、石、川、尾、に、引、き、の、便、宜、を、計、り、全、く、理、想、の、庶、民、の、諸、氏、で、あ、る。

本社及び 磐城大衆 主催 茸狩りの記

本社が秋晴れの一日を樂む、去る十四日（日曜日）双葉郡大久村の山林、於て同村々長柳井義一氏の後援に依りて、松茸狩の催を行つた。當日は秋晴れの名に背かず、一點の黒雲もなく、赤蜻蛉は愉快げに吾等の一行を山へ送るべく交飛する朝九時半、四丁目鈴木自動車部員に集合、行三十餘名、懸かて自動車上の人となるや、嬉々として先づ獲物の話、さては、い、ろ、の、難、談、中、に、恙、な、く、目、的、の、山、に、付、く。暫時休憩後、いざ山に入つてからが面白い、彼方でもオオオ此んなのが取れたと、老ひも若きも松茸を差上げて、得意に呼び交はしてゐる。實に此の日に此時だけの無心二錢五厘といふ何れも比較衛 監督役若松孝平、粥塚なかつた。的の低利を旨として、加入者富二郎、相談役小野春之助、谷地、泉、元、湯、石、川、尾、に、引、き、の、便、宜、を、計、り、全、く、理、想、の、庶、民、の、諸、氏、で、あ、る。

御禮

茸狩り後援者 御禮 各位
萩原 申八 萩原 義雄
藤原 寅吉 關内 正一
工藤 源吉 佐藤 三平
中里 商店 西村 商店
井上貞次郎 五十嵐炭礦
九十村木店 山崎佐市郎
松崎長太郎 釜屋
薄硝子店主 福島貯蓄銀行

知人消息

△京都の青木淳氏は公認興信所を開設以來業務向トし目下大量の活躍をしてゐる。過般の風水害には災厄をまぬかれた由
△東京で活躍中の鈴木昌雄氏は今回雑誌「輝く日本」社に主幹として入社、軍部と連絡をこつて花々し
△日本主義運動 邁進すべく、去る十日東京會館で首途を祝する爲め同志二十名を集集盛宴を張つた。△嘗て滿洲で張作林の顧問までした石城の産んだ傑人草野 馨氏はある用務を帯び支那に行くことにした。△出帆、今月中旬鈴木昌雄氏外數氏發起で送別會を開催し草野氏の

首途を祝するため目下準備中
△帝展審査員勝田焦琴氏は胃腸を病んで臥床中だが、大分快方に向ふ。△角田画伯は八月帝展出品の作品を製作すべく或寺院にこもつてゐる。△留守中火災 遭、自宅は全焼、損害二萬八千圓、友人同志は家財道具を寄附して現在では不自由なく藝術に精進してゐる。△東京警備司令官西義一中將は、相變らず元氣である。中將の徳を慕つて會いにくる人が多い、中將も迷惑だらう。（完）



上遠野村長

泉村々長上遠野新重郎氏は日露に出征した勇士にして村治の爲めに献身の努力を拂ひ濃厚な人格者村民より信望あり、氏の手腕は期待されるものがある。

田子祐太郎氏

全村助役田子祐太郎氏は上遠野村長の女房役として村長を補佐し事務亦よく整理統一され、村民から信用がある。

星野七郎氏

全村収入役星野七郎氏は全村財政を守るに適役として又實直勤勉の人として知られ好評を受けてゐる。

金成村長

好間村長金成淺治氏は實直の村宰として定評あり、村治運行の爲め努力を拂つて居る。

高木助役

同村助役高木秀彌氏は金成村長を援け實績をあげ其の手腕は一船から期待されて居る。

鈴木收入役

同村収入役鈴木榮二氏はよく職責を果し、實直なる人格者で公金を處理するに最

献身の努力を拂ふ 適任と一般村民より信望されてゐる。

菅波助役

四倉町助役菅波千之助氏は金成岩吉氏に組頭に推挙され、事務的腕あり町長の女房役として重きをなして居る。

遠藤收入役

四倉町収入役遠藤安次郎氏も亦清廉潔白な手腕家にして收納事務に懸けては第一人者である。

小港宗吉氏

四倉町々々議員であり柏屋旅館の主人公である小港宗吉氏は町議に當選以來二期見あり自治運用に對する達

面川龜之助氏

四倉町々々議員であり町有力者として知られてゐる、面川龜之助氏は町發展の爲めに努力する所多く町民より多大の信用を博してゐる。

植田三郎氏

四倉町植田三郎氏は材木商として信用あり、取引極めて盛んで業績日に向上して居るが氏は警中出身の秀才で民政黨の遊説部員で一方植田町警東銀行は地方金融

金成金三氏

植田町警東銀行は地方金融界に貢献するところ深く健康な行徳 警東銀行

金成岩吉氏

四倉町々々議員で消防組頭金成岩吉氏は組頭に推挙されて以來消防組の向上發達に盡力し組員からは勿論一般町民も、信望がある。

大和田安太郎氏

四倉町々々議員大和田安太郎氏は愛町心に燃ゆる清廉潔白にして、町發展の爲めには努力を惜まぬ人である。

古川町長

植田町々々長古川傳一氏は前縣議の花形として歴倒す勢あり氏にして、識見あり自治運用に對する達識と手腕あり町長の譽がある。

馬上守一氏

中堅人物 植田町郵便局長馬上守一氏は同町の中堅人物にして町會議員として町の發展の爲め活躍して居るが、通信事務の練達家として知られて居る。

赤津修一

勿來町會議員 赤津修一 湯本消防組頭 井坂千代松

小市民の味方!!!

一徳合資會社平支店 本店 仙臺市北一番町九番地 支店 平町南町十九(電三四五)

實な營業方針は基礎愈々固たる坂本龜太郎氏は明治卅八年の日露戰役に出征し金者は絶体の安心を以て取て軍効に依り功七級勳七等引されてゐる。 坂本龜太郎氏 町民よりの信望絶大植田町の醬油醸造家として知られ

拜啓秋冷之候愈々御清穆慶賀之至りに奉存候 其後は暫く御無音に打過ぎ候實は帝展出品製作に鋭意精進致し居り候次第御佛心と題し出品致し置き候間帝展へ御來駕の際何卒御高覽の榮を賜はり度候先は御挨拶傍々近況御報迄申上度如斯に御座候拜具 會期(自十月十七日 毎日午前九時ヨリ 至十一月廿日 午後五時マデ) 東京市瀧野川區瀧野川町六九二番地 赤堀信平 電話(王子)三、三六三番

四倉町長 新妻盛 四倉漁業組合長 菅波末吉 勿來町助役 横山太一 四倉町會議員 小松章 勿來町會議員 赤津修一 湯本消防組頭 井坂千代松

小市民の味方!!! 一徳合資會社平支店 本店 仙臺市北一番町九番地 支店 平町南町十九(電三四五)

産科婦人科 木村村病院 備完室病意隨院入 院長 木村村 内科 木村村 外科 木村村 電話 四六一

内科外科一般 金成醫院 平鎌田町 電話三五八番 院長醫學士金成忠義

諸橋外科醫院 平町新川町 電話四六四番 院長醫學博士諸橋鐵彌

小野常治商店 平町(電話一四四番) 齋藤敏實 平町田町 電話三二三番

江川屋足袋店 江尻直次 平三ノ三八

關内藥局 平四丁目 電話四〇番

かまぼこ製造 折詰仕出し 吉原揚、さつま揚 藤市遠藤市松 電話三〇五番

貸切自動車の御用命は!! 迅速、親切 御客様本位!! 平タクシィー 電話七九番

湯本用無盡株式會社 湯本町字三函一四九番地 電話四七番

品廉賣に勝る商略なし 磐城セメント 特約代理店

久釜屋商店 磐城平町五丁目 電話九番・九九番 東京替振貯金口座一〇九五

市内小兒科 市内外科 市内眼科 市内耳鼻科 市内皮膚科 市内泌尿科 市内性病科 市内花柳科 市内一般科 市内小兒科 市内外科 市内眼科 市内耳鼻科 市内皮膚科 市内泌尿科 市内性病科 市内花柳科 市内一般科